

飛沫感染防ぐ安価な箱



浜松医科大学と協同組合HAMING（ハットシ、金属クリップリング、浜松市南区、橋本秀比呂理事長、053・4688・5815）は、気管挿管の際に飛沫感染防止用ボックスとして使用できる器具を製作した。箱状に組み立てた金属製フレームが3万円（消費税別）で、医療機関に提供した。現在の価格は骨組みとなるフレームが3万円（消費税別）で、医療機関に提供した。現在の価格は骨組みとなるフレームが3万円（消費税別）で、医療機関に提供した。

飛沫防止ができる器具の使用例（協同組合HAMING提供）

浜松医大など 気管挿管向け器具

（費税抜き）、ポリ袋が10枚入りで10000円（同）。

組み立て後、ポリ袋を内側からセットすることでフレームを汚染されにくくした。使用後はクリップを外すだけで、ポリ袋を取り外しでき、そのまま廃棄する。

樹脂製の飛沫感染防止ボックスもあるが、高額な製品もあり感染防止対策の基本となる使い捨てが難しかった。使用後に行う清掃の煩雑さも課題だった。

（浜松）